

令和3年度 第71回 関東高等学校卓球大会



期日 令和3年6月4日（金）～6日（日）
会場 かみす防災アリーナ
文責 茨城県高体連卓球専門部 委員長
茨城県立水戸第二高等学校 吉岡 浩

令和3年度第71回関東甲学校卓球大会が、茨城県神栖市のかみす防災アリーナで開催されました。新型コロナウィルス感染対策を施しながらの、制約の多い大会となりましたが、参加選手は熱い戦いを繰り広げました。

開閉会式は行われませんでしたが、連続出場校として、千葉県木更津総合高校男子(30年)、山梨県日本航空高校男子(10年)、埼玉県川越東高校男子(10年)、通算出場校として栃木県作新学院高校男子(40回)、千葉県東京学館浦安高校男子(30回)、千葉県木更津総合女子(20回)、埼玉県川越東高校男子(20回)、埼玉県さいたま市立浦和南高校男子(10回)、連続出場監督として、坪井貞利先生(川越東高校・10年)が表彰されました。

競技の方ですが、男子学校対抗は実践学園(東京)と埼玉栄(埼玉)の決勝戦となり、実践学園が勝利を収めました。第3位には、安田学園(東京)と東海大菅生(東京)が入賞し、東京の層の厚さを示しました。

女子学校対抗においては、和洋国府台(千葉)と武蔵野(東京)との決勝戦となり、和洋国府台が勝利を収めました。第3位には、正智深谷(埼玉)と横浜隼人(神奈川)が入賞しました。

男女ダブルスは、今年度は各都県代表数を男女各1組として行いました。初戦からレベルの高い試合が繰り広げられました。男子ダブルスでは、山本煌翔・東海林聖央組(三浦学苑・神奈川)が狩野耕助・小暮桜介組(埼玉栄・埼玉)との決勝戦を制しました。第3位には、剣持将作・高橋航太郎組(実践学園・東京)と麦進琳・石川大翔組(学館浦安・千葉)が入賞しました。

女子ダブルスでは、上田愛佳・小林愛弓組(樹徳・群馬)と山崎琴音・東川羽菜組(宇都宮文星・栃木)が決勝戦を戦い、山崎・東川組が優勝しました。第3位には、香取位圭・矢島采愛組(正智深谷・埼玉)と陳ヶ尾真子・鈴木沙羅組(和洋国府台・千葉)が入賞しました。

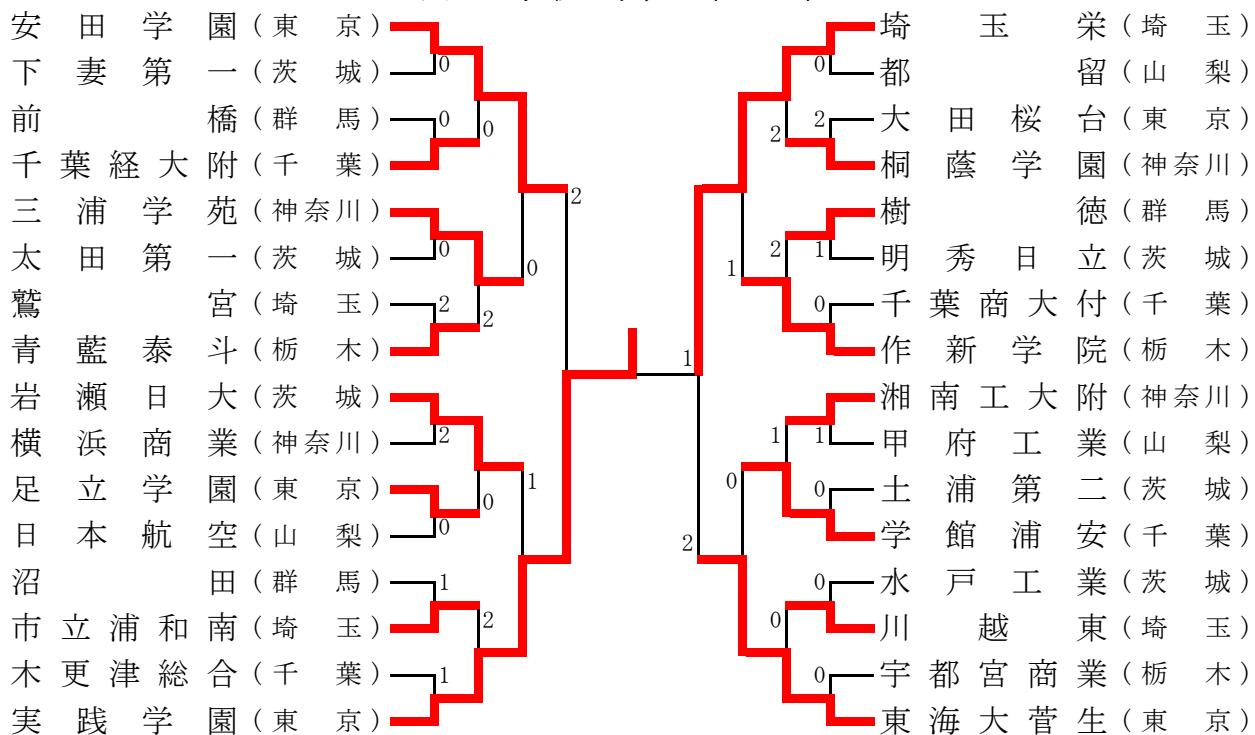
男子シングルス決勝は、第一、第二シード選手の対戦となりました。加藤渉(作新学院・栃木)が、第一シードの伊藤礼博(安田学園・東京)との接戦を制し優勝しました。第3位には、柳澤幹太(実践学園・東京)と高橋航太郎(実践学園・東京)が入賞しました。

女子シングルス決勝は、陳ヶ尾真子(和洋国府台・千葉)と野川春華(武蔵野・東京)との対戦となり、陳ヶ尾が優勝し、学校対抗との2冠を達成しました。第3位には、矢島采愛(正智深谷・埼玉)と吉岡桜子(正智深谷・埼玉)が入賞しました。

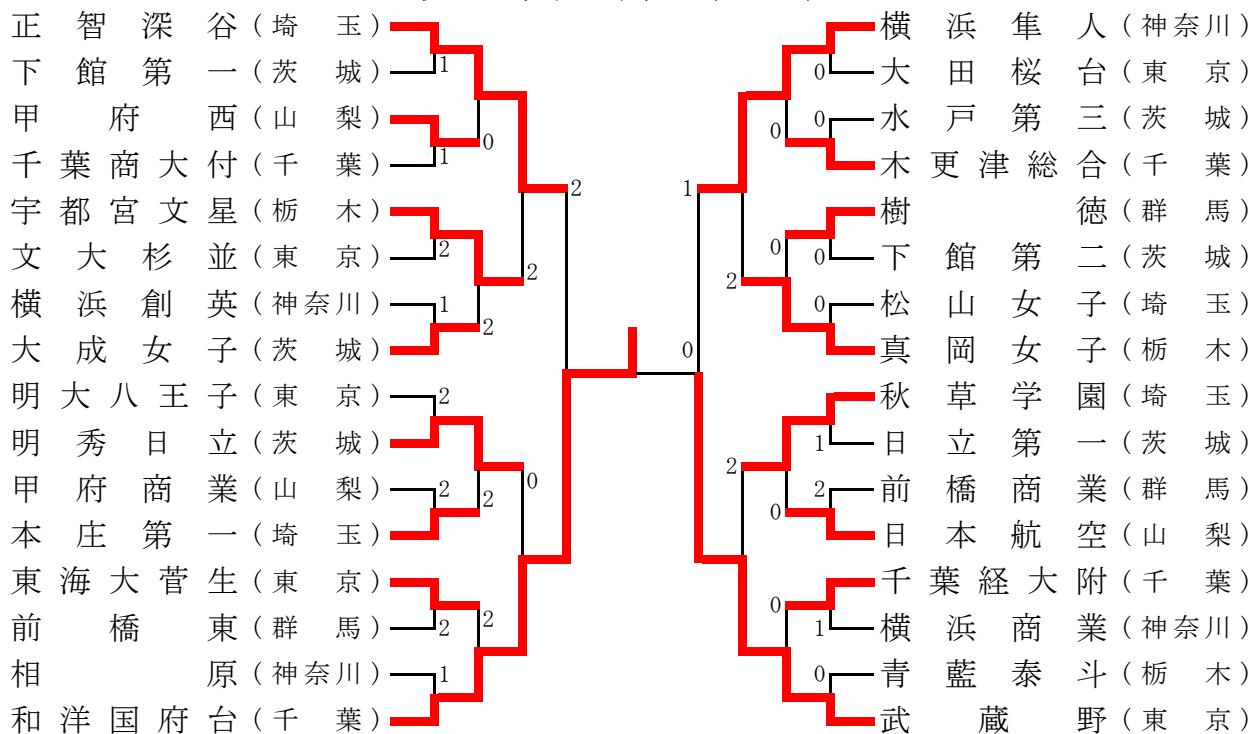
大会運営に関しては、新型コロナウィルス感染対策のひとつとして、地元の生徒に競技補助員をお願いすることなく、極力参加者と地元の卓球部顧問で運営をするようにしました。また、無観客として、入場も制限しました。参加された方々には、不便な思いをさせたことと思いますが、何とか無事に大会を終えることができました。

最後に、本大会開催にあたりご指導、ご協力いただいた関係各位及び、競技役員の皆さまありがとうございました。また、素晴らしいプレーを見てくれた選手の皆様にもお礼を申し上げ、報告とさせていただきます。

男子学校対抗 (B T)



女子学校対抗 (G T)

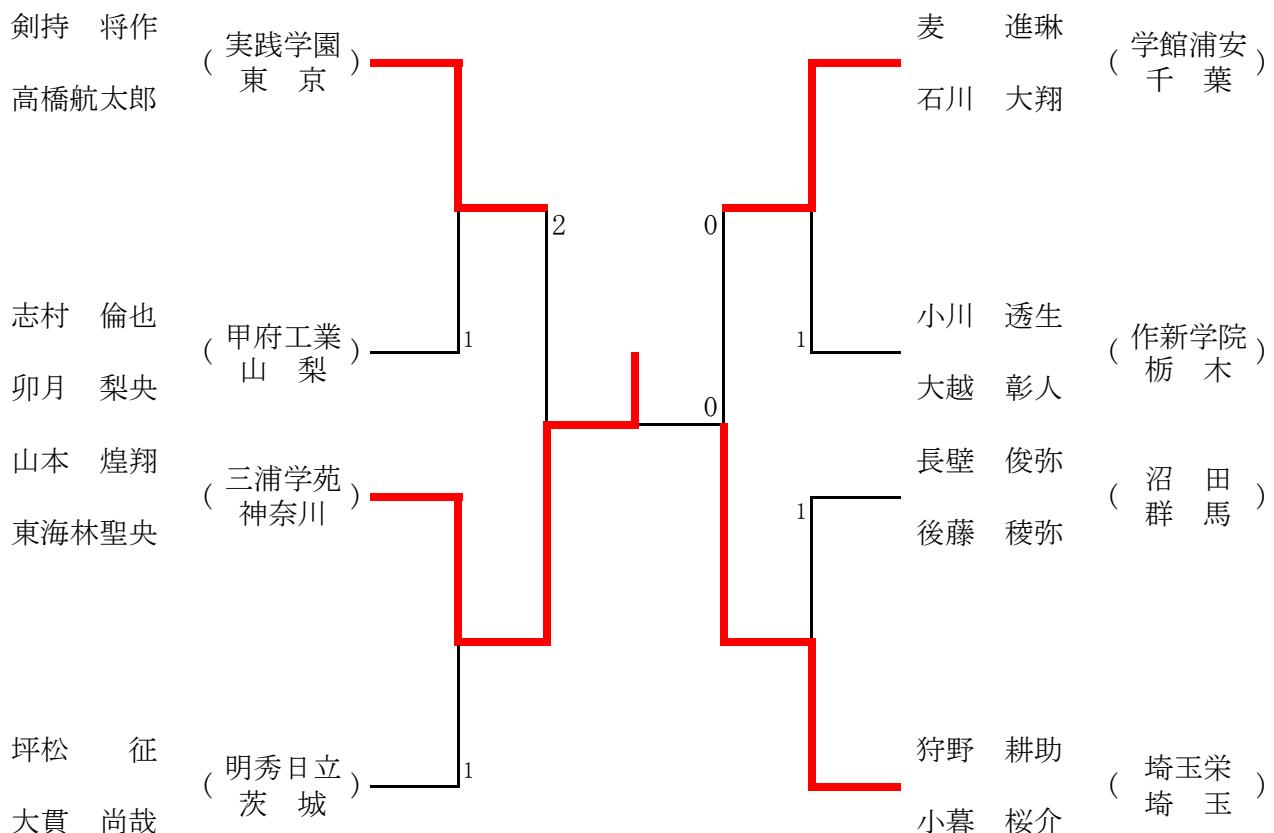


男子学校対抗優勝 実践学園(東京)



女子学校対抗優勝 和洋国府台(千葉)

男子ダブルス (B D)



準決勝 201			
剣持 将作	12 — 10		山本 翔
高橋航太郎	3 — 11		東海林聖央
東京	9 — 11	3	神奈川
実践学園	14 — 12		三浦学苑
	9 — 11		

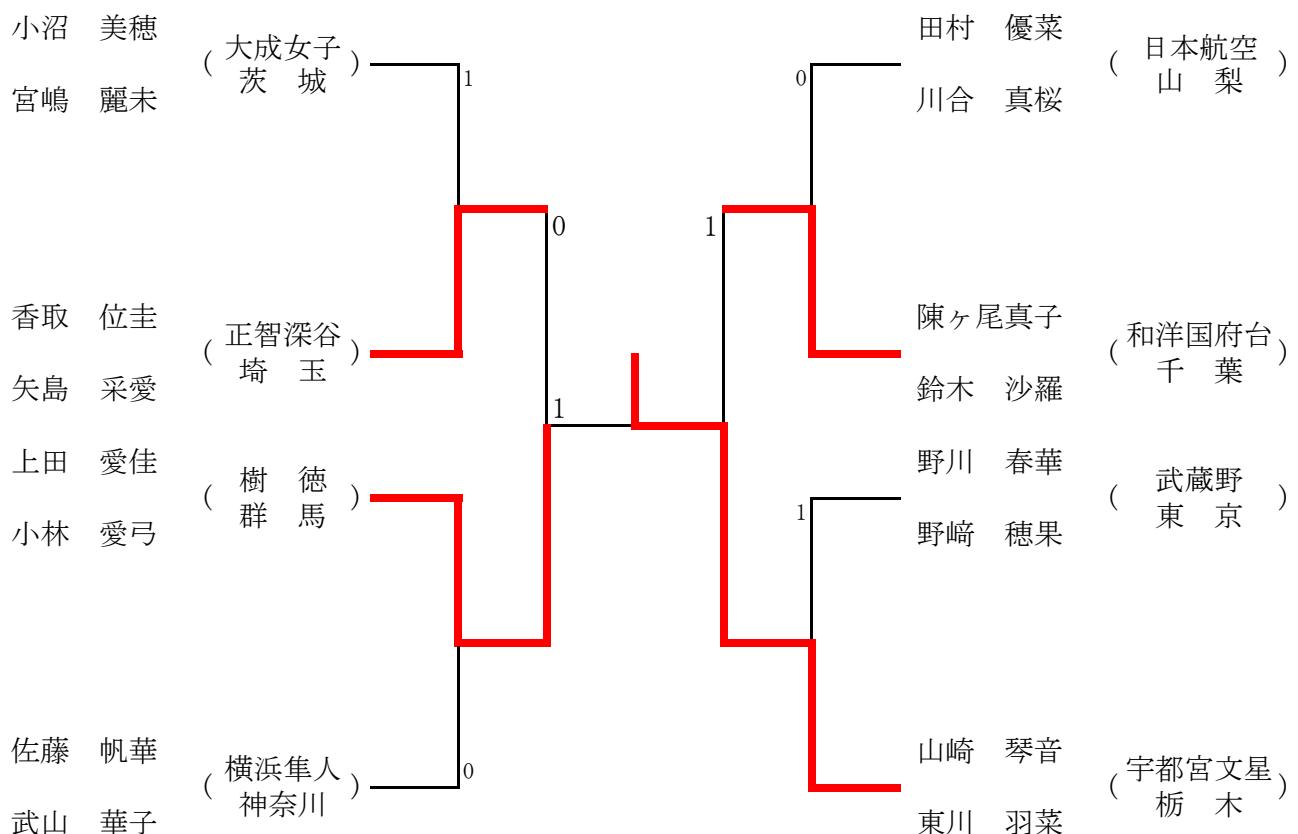
準決勝 202			
麦 進琳	10 — 12		狩野 耕助
石川 大翔	6 — 11	3	小暮 桜介
千葉	10 — 12		埼玉
学館浦安			埼玉栄

決 勝 301			
山本 翔	11 — 7		狩野 耕助
東海林聖央	11 — 7	0	小暮 桜介
神奈川	12 — 10		埼玉
三浦学苑			埼玉栄



男子ダブルス優勝
山本 翔・東海林 聖央組
(神奈川:三浦学苑)

女子ダブルス (G D)



準決勝				201
香取 位圭	0	9 — 11	3	植田 愛佳
矢島 采愛	11 — 13		3	小林 愛弓
埼玉	6 — 11			群馬 樹徳
正智深谷				

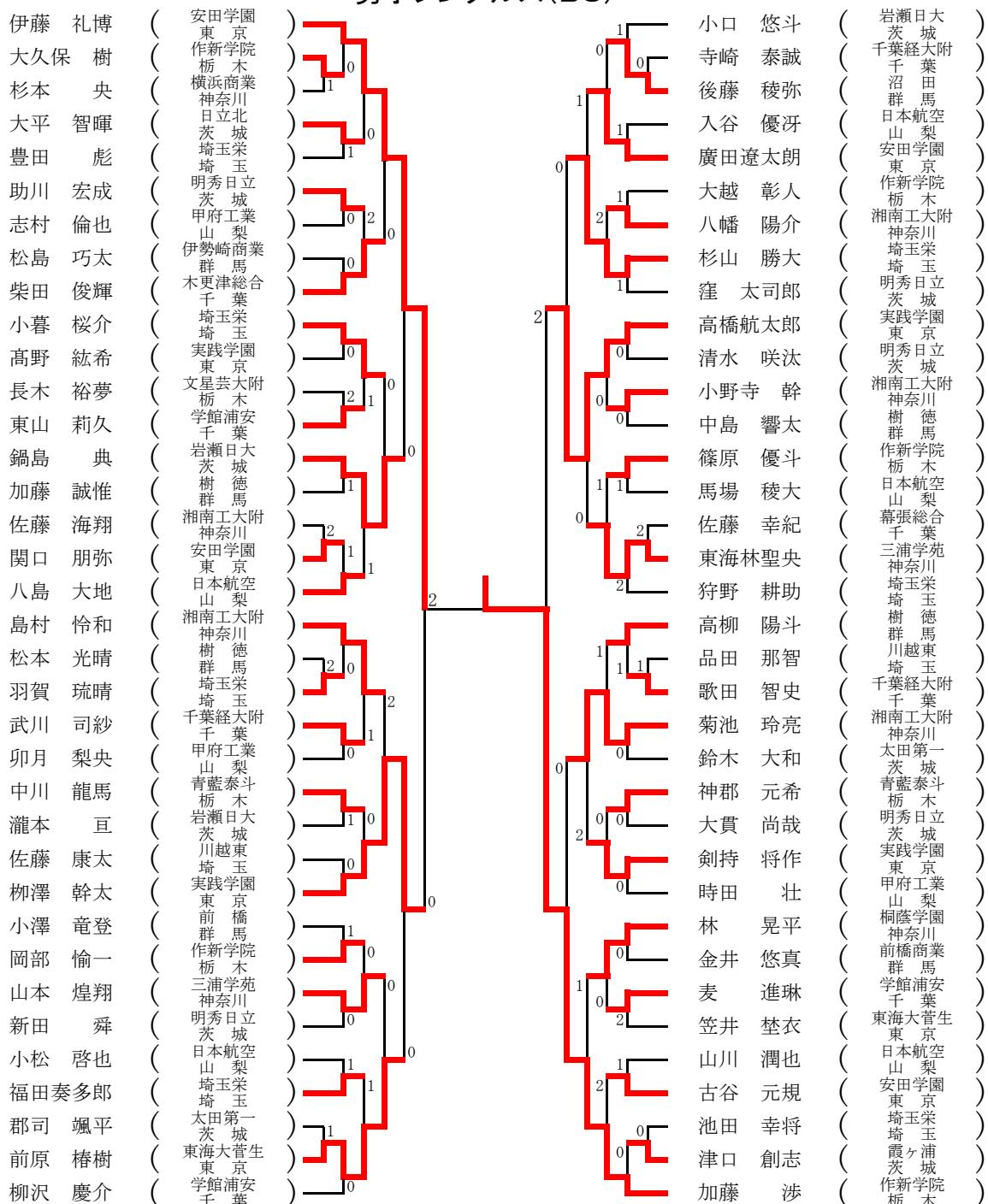
準決勝				202
陣ヶ尾真子	4	— 11	3	山崎 琴音
鈴木 沙羅	11	— 8	3	東川 羽菜
千葉	8	— 11		栃木
和洋国府台	9	— 11		宇都宮文星

決 勝				301
植田 愛佳	1	11 — 13		山崎 琴音
小林 愛弓	16 — 14	3		東川 羽菜
群馬	9 — 11			栃木
樹徳				宇都宮文星



女子ダブルス優勝
山崎 琴音・東川 羽菜 組
(栃木:宇都宮文星)

男子シングルス(BS)



準決勝 601				
伊藤 礼博	3	11 — 6	柳澤 幹太	
東京		11 — 2	0	東京 実践学園
安田学園		11 — 6		

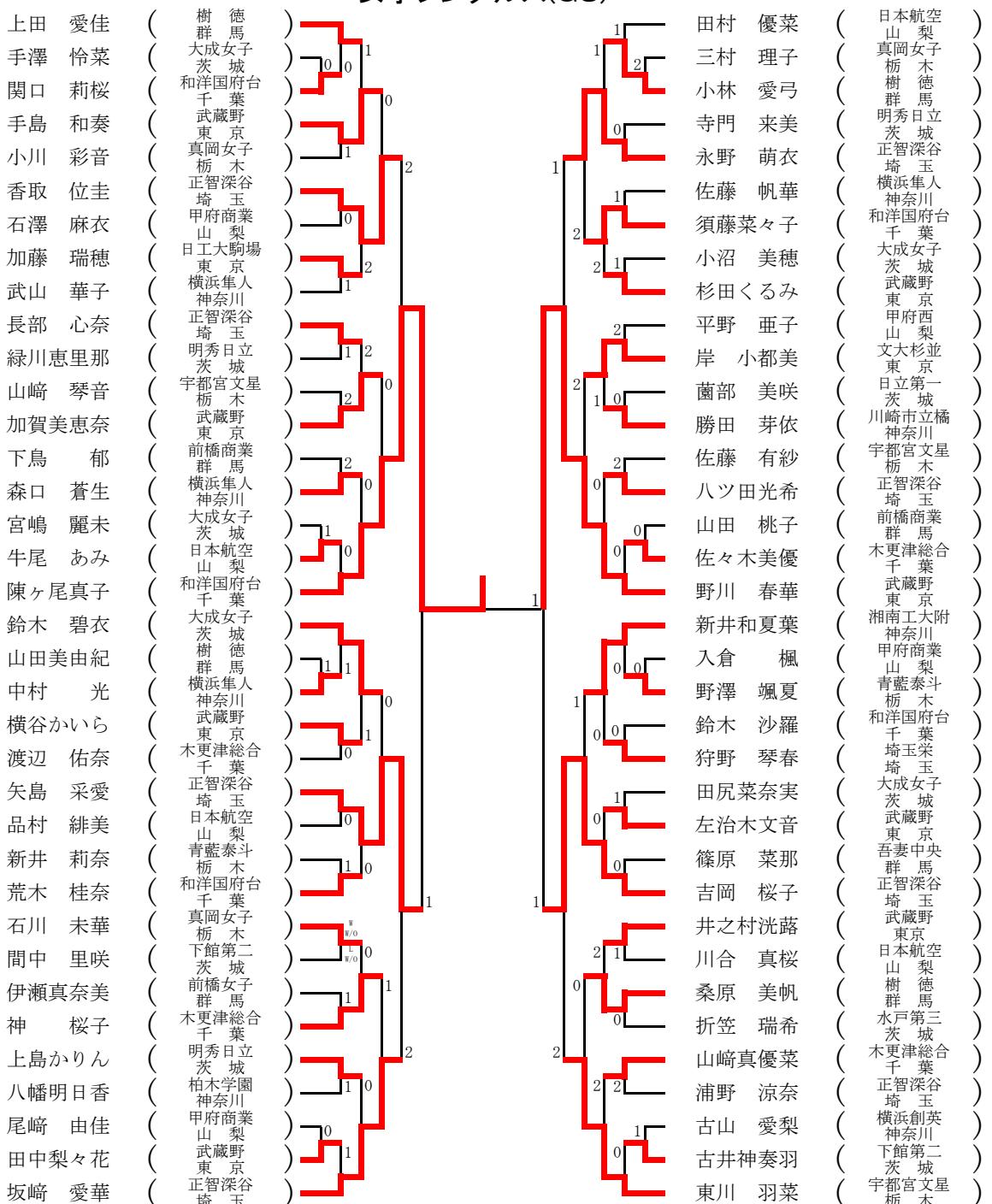
準決勝 602				
高橋航太郎	2	8 — 11	加藤 渉	
東京		11 — 3		
実践学園		8 — 11	3	
		11 — 7		
		9 — 11		栃木 作新学院

決勝 701				
伊藤 礼博	2	10 — 12	加藤 渉	
東京		9 — 11		
安田学園		15 — 13	3	
		11 — 9		栃木 作新学院
		9 — 11		



男子シングルス優勝
加藤 渉
(栃木:作新学院)

女子シングルス(GS)



準決勝 601			
陣ヶ尾真子 千葉 和洋国府台	3	11 - 5 11 - 9 6 - 11 11 - 5	矢島 采愛 埼玉 正智深谷

準決勝 602			
野川 春華 東京 武蔵野	3	11 - 8 11 - 5 7 - 11 11 - 8	吉岡 桜子 埼玉 正智深谷

決勝 701			
陣ヶ尾真子 千葉 和洋国府台	3	10 - 12 11 - 6 11 - 8 11 - 7	野川 春華 東京 武蔵野



女子シングルス優勝
陣ヶ尾 真子
(千葉:和洋国府台)

男子学校対抗代表決定戦

1	鷺宮	埼玉	0
2	沼田	群馬	3
3	三浦学苑	神奈川	3
4	都留興譲館	山梨	0
5	明秀日立	茨城	2
6	東海大菅生	東京	3
7	学館浦安	千葉	0
8	作新学院	栃木	3

女子学校対抗代表決定戦

1	埼玉栄	埼玉	2
2	宇都宮文星	栃木	3
3	横浜商業	神奈川	1
4	木更津総合	千葉	3
5	明大八王子	東京	3
6	前橋商業	群馬	2
7	明秀日立	茨城	3
8	甲府南	山梨	0